

大政大臣三條實美

開拓使

其使職制章程別冊之通被定候條此旨
相達候事

明治八年十一月廿五日太政大臣三條實美

開拓使職制事務章程

開拓使職制并事務章程

開拓使ハ北海道并屬島開拓ノ事ヲ
管ス管内分テ四大部トス札幌ヲ本廳
トシ函館根室等ハ支廳ヲ置キ別ニ東
京出張所ヲ設ク

職制

長官 一人

第一 本使ノ官負テ統率シ使中一切ノ事務

ヲ總判レ所管ノ土地ヲ開拓シ人民
繁殖殖警備勸業等ノ事ヲ掌ル

第二

本使官負奏任ノ進退黜陟ヲ具狀シ
其判任以下ハ之ヲ專行ス

次官

一人

長官ノ職掌ヲ輔ケ長官事故アル時
ハ一切ノ事務ヲ代理スルヲ得

大判官

中判官

少判官

長官ノ命ヲ受ケ使中ノ事務ヲ糾判
シ公文受付ヲ提掌ス

幹事

權幹事

長官ノ指揮ヲ受ケ諸局ノ事務ヲ

幹理ス

大主典

權大主典

中主典

權中主典

少主典

權少主典

文案ヲ勘署スルヲ掌ル

史生

公文ヲ繕寫スルヲ掌ル

使掌

事務章程

使中ノ事務大分シテ上下ノ二款ト爲
ス其上款ハ長官ノ意見ヲ具シ上奏裁
可ヲ經テ然ル後施行ス其下款ハ長官
ノ意見ヲ以テ專行スルヲ得上下二款ノ
事務ニ於テハ長官皆其責ニ任ス

上款

第一條 國郡ノ經界ヲ改定スル事

- 第二條 國郡ノ名稱ヲ定メ或ハ變更スル事
- 第三條 支廳ヲ廢置スル事
- 第四條 驛遞ヲ廢置シ郵便ヲ開設スル事
- 第五條 租税ノ法ヲ定メ及ヒ改正スル事
- 第六條 社寺ヲ廢置スル事
- 第七條 汽車道ヲ開キ電線ヲ架スル事
- 第八條 燈臺及礁標ヲ設立スル事
- 第九條 官立學校ヲ廢置スル事
- 第十條 新發明ノ物品專賣ヲ許允スル事
- 第十一條 本使ノ官貢ヲ海外ノ派出スル事

以上

下 款

- 第十二條 村邑ヲ創置シ或ハ名稱ヲ變更スル事
- 第十三條 戶籍ヲ査定スル事
- 第十四條 道路橋梁ヲ築作修繕スル事
- 第十五條 民業ヲ勸誘シ物産繁殖ノ方法ヲ設
ル事

- 第十六條 士民ノ移住ヲ許可シ土地ヲ賣賃スル事
- 第十七條 外國人ヲ傭使シ及給料ヲ増減スル

事

第十八條 鑛山ヲ開採スル事

第十九條 溝渠ヲ開鑿スル事

第二十條 河流ノ填淤ヲ疏浚スル事

第二十一條 人馬船梁ノ賃錢ヲ査定スル事

第二十二條 種樹園ヲ設立スル事

第二十三條 牧畜ノ方法ヲ設ル事

第二十四條 工場ヲ設立スル事

第二十五條 公私學校廢置ノ事

第二十六條 廳廨ヲ營繕スル事

第二十七條 貸附ノ方法ヲ設ル事

第二十八條 物産販賣ノ法ヲ立ル事

第二十九條 定額金ノ豫算ヲ具狀スル事

第三十條 諸費ヲ計算シ之ヲ公報スル事

第三十一條 使務ノ功程及管内ノ景況諸政ノ統計

ヲ公報スル事

第三十二條 各廳ニ交渉スル事件ハ照會施行ス

ル事

第三十三條 定則ニ從ヒ移民ニ給與スル事

第三十四條 豫備倉ヲ設ケ凶荒ヲ救済スル事

第三十條 定規ニ照シ窮民ヲ賑恤スル事

第三十一條 定規ニ照シ褒賞ヲ行フ事

第三十二條 巡查ヲ廢置スル事

第三十三條 需用ノ物品外國ヨリ購入スル事

第三十四條 一切ノ租稅例規ニ照シ處分スル事

第三十五條 定額金ヲ以テ開拓ノ施設緩急ニ

應シ處分スル事

第三十六條 判任以下ノ官員ヲ増減スル事

第三十七條 函館裁判所管ヲ除ク外懲役

十年以下處刑ノ事

函館裁判所管ヲ除ク外處刑終身懲

役ハ函館裁判所ニ擬律案ヲ差出シ其死

罪ハ大審院ニ差出シ批可ヲ得テ然後決行

ス

使中局ヲ分ツ左ノ如シ

記録局

民事局

會計局

工業局

物産局

學務局

刑法局

開拓使

官幣小社札幌神社本年七月
ヨリ来九年六月マテ一周歳
ノ費額別冊ノ通決定候條右
ヲ以諸費一切取賄此上増費
ヲ要シ候儀無之様可致尤是
迄大蔵省ニ於テ相渡候本年